

第1学年5組 国語科学習指導案

平成21年10月23日

指導者氏名 小林 敦子

1 単元名「古典に親しもう」

教材「枕草子」

2 単元の目標

・古典に興味を持ち、進んで音読・朗読をすることで、古典作品に慣れ親しもうとする。
(関心・意欲・態度)

・繰り返し音読・朗読することで古典の持つ独特のリズムに慣れ、優れた表現を味わおうとする。また、古人のものの見方や考え方を読みとりながら、自分自身のものの見方や考え方を広げようとする。(読む能力)

・歴史的仮名遣いや古語の意味と使い方を理解し、古典の文章のおおまかな意味をとらえようとする。(言語についての知識・理解・技能)

3 学習の基盤 (生徒観は省略)

(単元・教材観)

生徒は小学校で初歩的な古典に触れてはいても、古文を読むということは、新しい経験である。本単元は、今後、本格的に古典学習をしていく前の入門期に、苦手意識を持たせず、古典に親しむ態度を育てていくことを目標にしたものである。本教材については、内容も色彩豊かで言葉も美しく、優れた表現が随所にあるため、音読・朗読に適している。また、筆者清少納言の美意識や感受性が表れた作品でもある。筆者のものの見方や考え方に触れることで、自分のものの見方や考え方を広げるよい機会とさせたい。

(指導観)

初めての古典単元なので、音読の機会を多く取り入れ、古典独特のリズムや言い回しに慣れ親しませたい。一斉読み・ペア読み・暗唱などいろいろな方法を取り入れていきたい。本時は、筆者のものの見方や考え方がよく表れている文を取り上げ、題名をもとに自分ならどう考えるかを書かせてみる。筆者の考えと比較し、共感したり批判したりすることによって自分自身の考えを深めさせたい。また、時代を超えて現代にも通じる思いがあることにも気づかせたい。班での話し合い活動がうまくいかない班については、生徒同士のつながりを大事にしながら助言をしたい。

4 教材の指導計画及び評価計画（全5時間）

時間	学 習 活 動	国語への関心・意欲・態度	読む・書く能力	言語についての知識・理解・技能
第1次 1	○清少納言や枕草子についてあらましを知る。 ○歴史的仮名遣いに注意して古文を読む。 *ワークシートを準備し、仮名遣いについて書き込めるようにしておく。	・日本古来の作品に関心を持ち、進んで読もうとしている。	【読む】 ・語句や仮名遣いに注意して音読することができる。	・歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができる。
第2次 2	○個人や集団で繰り返し音読し、古典の文章に親しむ。 ○作者の、季節に対する感じ方やものの見方を理解する。 *前時に使ったワークシートに語句も書き込めるようにしておく。 *ワークの写真資料を見せ、内容理解の参考にさせる。（「火桶」「炭」など）	・本文に即して内容をとらえ、作者のものの見方や感じ方を理解しようとしている。	【読む】 ・筆者の、季節に対する感じ方やものの見方をとらえている。	・文章に出てくる語句の意味を正しく理解することができる。
第3次 2 本時 1/2 時間	○「枕草子」の他の章段を読み、筆者の考えに共感できるところや自分だったらどう書くかを考えさせる。 *「うつくしきもの」「はしたなきもの」の口語訳つきの資料を読ませる。 ○「わたしの枕草子」を書き、班の中で発表し、自己評価・相互評価を行う。 *書くときは、手引書を準備し、いろいろなパターンの中から選択させる。	・「枕草子」の他の章段に興味を持ち、進んで読もうとしている。 ・手引きから自分が書くパターンを選択し、「わたしの枕草子」を進んで書こうとしている。	【読む】 ・「枕草子」の他の章段を読み、作者のものの見方・考え方に触れるとともに現代の自分たちのことに置き換えて考えることができる。 【書く】 ・例文を参考にし、独自の感覚で「わたしの枕草子」を書いている。	

5 本時の学習

○目標

- ・筆者のものの見方や考え方を理解し、それが現代の日本人にも共通するものであることに気づく。(読むこと) * 1
- ・「枕草子」の他の章段にも興味を持ち、進んで読もうとする。(関心・意欲・態度) * 2

○展開

学 習 活 動	教 師 の 支 援	評 価
1、「枕草子」第一段を音読する。	・声を出すことで、ウォーミングアップさせる。	
2、本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">「枕草子」の他の段も読んで、筆者のものの見方や考え方を知ろう。</div>	・めあてを提示し、確認させる。	
3、「枕草子」の他の段を読む。 ・「うつくしきもの」「はしたなきもの」の段を読む。	・中学生に親しみやすく、筆者のものの見方や考え方がよく表れている章段を選び、現代語訳つきで読ませる。個人練習やペア読みをさせる。	・「枕の草子」の他の段にも興味を持ち、意欲的に音読をしている。(観察)
4、3つの題材について、共感できる部分に線を引く。		・3つの題材について、共感できる部分に線を引いている。(観察・ワークシート)
5、線を引いた部分を発表する。	・筆者の思いには、現代にも通じるものがあることを確認する。	
6、3つの題材について、自分だったら何を書くか、ワークシートに書く。	・筆者の書いているテーマを自分に置き換えて考えさせる。(4人組のグループにする。)	・筆者の書いているテーマを自分に置き換えてワークシートに書くことができる。(観察・ワークシート)
7、ワークシートをグループの中で回し読みし、友達の考えも知る。		
8、次の時間は本時のワークシートを参考に「わたしの枕草子」を書くことを知る。		

○本時の具体的な評価

	十分満足できると判断される生徒の具体例	おおむね満足できると判断される生徒の具体例	努力を要すると判断される生徒の具体例
読むこと	「枕草子」の他の章段を読み、筆者のものの見方・感じ方を理解し、共感できることを見つけたり、自分に置き換えて複数のテーマについてワークシートに書き込んだりすることができる。	「枕草子」の他の章段を読み、筆者のものの見方や感じ方を理解し、共感できることを見つけたり、自分に置き換えて一つのテーマについてワークシートに書き込んだりすることができる。	「枕草子」の他の章段を読むことはできるが、筆者のものの見方や感じ方を理解は不十分で、共感できることを見つけたり、自分に置き換えて書ワークシートに書き込んだりすることはできない。
関心・意欲・態度	「枕草子」の他の章段に興味を持ち、何回も練習し、進んで読もうとしている。	「枕草子」の他の章段に興味を持ち、読もうとしている。	読めないところは、友達に聞きながら、「枕草子」の他の章段を読んでいる。